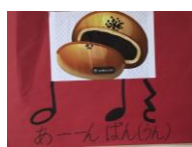


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	西備支援学校	実践者名	永瀬裕記・星野真理子
実践場面 (教科)	音楽		
単元・題材名	「パンのリズム」でリズム打ちをしよう		
学習目標・ねらい	・教師や友達がするリズム打ちを真似て、手拍子で「パンのリズム」をたたいたり、曲に合わせて「パンのリズム」をたたいたりすることができる。		
対象の児童生徒の実態	・知的障害部門中学部1年生2名、2年生3名、3年生2名 ・音楽が好きで、関心が高い生徒が多い。 ・教師のリズム打ちを真似るだけでなく、友達の考えたリズムを真似てリズム打ちをすることができつつある。 ・総合的な学習の時間に、他学校と同時双方向の交流学习を経験している。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
※iPadを持ち帰って、生徒の自宅と学校とをつないだ同時双方向の授業をすすめることを想定した実践案			
【実践で使う機器・アプリ等】 機器：iPad・TV・apple TV・スピーカー、アプリ：「Meet」			
①自分の好きな「パンの名前」でリズム打ちをする ・「フランスパン」や「カレーパン」、「メロンパン」等のパンのイラストを提示することで、教師と家庭で課題を共有する。一人の生徒が、好きなパンを選び、その「パンの名前」のリズム打ちをして、紹介する。他の生徒は、友達を選んで考えた「パンのリズム」を真似して、リズム打ちをする。			
②曲に合わせて、「パンのリズム」をたたく ・学年で「あんぱん」「コッペパン」「クリームパン」のリズム担当を決めておく。			
   ・担当別に上記の「パンのリズム」を練習したり、全員で「ほかほかできたてパンやさん」のリズム打ちを練習したりする。			
  ・上記で練習したリズムカードを提示しながら、「キューピー3分クッキング」の曲に合わせて、リズム打ちをする。			
活用のポイント・改善策等			
・事前に保護者に時間と「Meet」の接続方法を確認しておく ・Meetでつないでいる生徒がリズム打ちをする際には、ipadをTVに接続して、学校にいる生徒によく見えるようにする。 ・曲に合わせてリズム打ちをする際には、iPadにリズムカードがしっかり映るように気を付ける。			